

第20回 東京芸術文化評議会 議事要旨

- 1 日 時 平成27年1月15日（木曜日）13時15分から14時45分まで
- 2 場 所 東京都庁第一本庁舎7階 大会議室
- 3 出席者 舛添都知事
秋元評議員、太下評議員、野田評議員、野村評議員、花柳評議員、
日比野評議員、宮田評議員、森評議員、吉本評議員
- 4 議 事 東京文化ビジョン（仮称）の検討

5 発言内容

○文化振興部長 ただいまより第20回東京芸術文化評議会を開催いたします。

皆様、お忙しい中御出席いただきまして、ありがとうございます。本日は、福原会長、浅葉評議員、小山評議員、杉本評議員、大野評議員、仲道評議員が所用により御欠席と連絡をいただいております。福原会長から、本日の会議の進行を吉本評議員にお願いしたいとの言づけがございました。本日は、会長の代理として吉本評議員に議事進行をお願いしたいと思いますと思いますが、皆様、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○文化振興部長 それでは、吉本評議員、よろしく願いいたします。

○吉本評議員 大役で心配ですが、議事進行を務めさせていただきます。

本日の会議に先立ちまして、まず、舛添知事から御挨拶を頂戴したいと思います。

○舛添知事 どうも皆さん、こんにちは。お忙しい中ありがとうございます。

年が明けて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会まであと5年となりました。ロンドン文化の面でも非常に成功した大会ですので、我々も負けないように日本文化の魅力の世界に発信する。そのために東京を世界一の芸術文化都市にしたいという思いです。文化ビジョンを東京都が策定するにあたり、これまで皆様方の御意見を賜り、素案をお示しすることができましたので、これまでの御努力に感謝したいと思います。

いつも申し上げていますが、2020年はゴールではなく、あくまで通過点であって、そこから先、東京を世界一の街にするにはどうするか。その中で芸術文化は更に栄えていかないとだめだといつも申し上げています。森記念財団の世界の都市総合力ランキングで、文化の項目ではパリがトップだろうと思って見ると、ロンドンがトップになっている。オリンピック・パラリンピック大会を契機にトップになったので、我々も負けるわけにはいかないと思っております。そういう意味で、有形無形のいいレガシーを残したい。文化戦略をそういう思いで立案したいと思っております。これは東京都だけではなく、オリンピック組織委員会は国との連携も必要で、皆さん方にいただいた案が具体化するためには、

財政的な裏づけも必要なので、予算的な措置もしっかりととっていきたいと思っています。

今日は各界の第一人者である評議員の皆様方の忌憚のない御意見を賜りまして、自由闊達な議論をして、いい方向をさらに進めていきたいと思っています。どうかよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○吉本評議員 ありがとうございます。それでは、早速次第に沿って進めてまいりたいと思います。本日の議事は、会議を公にすることにより率直な意見交換が困難になる恐れがありますので、運営要綱に基づいて非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「結構です」と呼ぶ者あり〕

○吉本評議員 では、特に異議がないようですので、そのように進めさせていただきます。では、次第に沿って会議を進めてまいります。

《以下、非公開》

以上